

## 安定的な資産形成について考えるシンポジウム

我が国の家計金融資産は、その過半が現預金であり、米国に比べ家計金融資産の伸びは低い状況です。人口の減少や高齢化が進展する中、国民の皆様の安定的な資産形成を推進していくことが重要です。

こうした状況を踏まえ、金融庁と中国財務局では、一般の方々に安定的な資産形成についての理解を促すことを目的として、「安定的な資産形成について考えるシンポジウム」を開催しました。

### 《開催概要》

日時	平成 29 年 11 月 7 日（火曜日）13 時 30 分から 15 時 40 分まで
場所	広島 Y M C A 国際文化センター 2 号館地階 コンベンションホール
内容	第 1 部 基調講演 「ライフプランと資産形成 ～なぜ必要？どう考える？～」 講師：永沢裕美子氏（フォスター・フォーラム事務局長） 第 2 部 説明 「「つみたて N I S A」と投資教育教材の説明」 説明者 金融庁総務企画局政策課 課長補佐 本田幸一 第 2 部 基調講演 「上手な長期・積立投資でああなたのライフプランの実現を － つみたて N I S A の賢い使い方－」 講師：伊藤宏一氏（千葉商科大学人間社会学部教授）
参加者	65 名
主催	金融庁・中国財務局
後援	文部科学省、厚生労働省、金融広報中央委員会、NISA 推進・連絡協議会 広島県、広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会、広島県金融広報委員会

## 《シンポジウムの模様》

### 【第1部 基調講演の模様】

フォスター・フォーラム事務局長の永沢裕美子氏から、「ライフプランと資産形成 ～なぜ必要？どう考える？～」と題して、ライフスタイルの多様化に伴うライフプランの考え方や、資産形成の必要性について、ご講演いただきました。

はじめに、平均寿命と健康寿命の差から老後は何年になるのかというお話しや若い人ほど老後の生活資金に対する不安を持っていることについてお話しをいただきました。資産形成のすすめということで、①「貯めつつ投資」に頭を切り替える必要がある②人生を「見える化」するためライフプランが必要である③目的にあった金融商品を選べるようになることが必要と、分かり易くお話しいただきました。



### 【第2部 説明の模様】

金融庁政策課 課長補佐の本田幸一より、金融庁の政策目標として、国民の厚生を増大を掲げていることや「長期・積立・分散投資」という考え方に着目をしていることを説明しました。

また、家計の安定的な資産形成に向け、①「つみたてNISA」という税制の創設②金融機関による顧客本位の業務運営の確立・定着③実践的な投資教育の推進に取り組んでいくことを説明しました。



### 【第2部 基調講演】

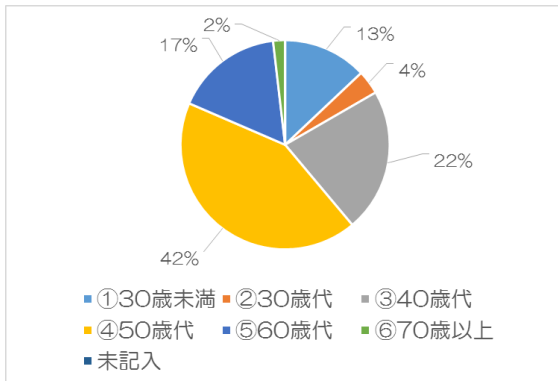
千葉商科大学人間社会学部教授の伊藤宏一氏からは、「上手な長期・積立投資でああなたのライフプランの実現を つみたてNISAの賢い使い方」と題し、資産運用の基本とつみたてNISAの活用方法について、ご講演をいただきました。

ライフプランについて、生活設計のハードル等についてご説明をいただいたほか、毎月定額で積立投資を行う効果、分散の考え方と商品の選択（つみたてNISAとiDeCoの違いなど）について、熱心にお話しいただきました。

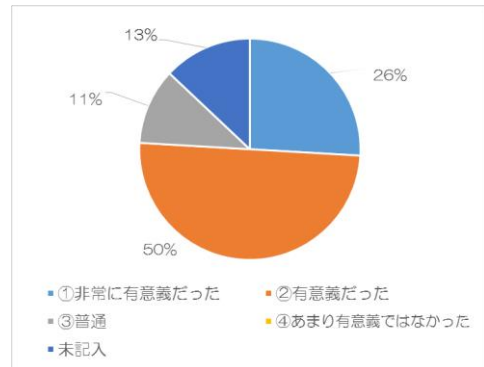


## 【参加者アンケート結果】

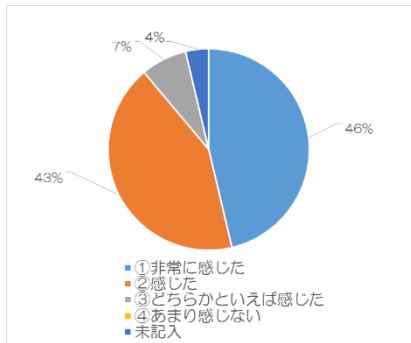
### 1. 年齢



### 2. シンポジウムの構成について



### 3. 本シンポジウムに参加して、資産形成に関する知識習得の重要性を感じましたか



### 4. 本シンポジウムのご感想など

- 投資の力を感ることができた
- ライフプランについて、昔との比較など非常に大切であると感じた
- 講師ご自身のライフプラン表をみて、自身を振り返り、ライフプラン表の必要性を感じた
- 講師ご自身の体験談により、長期投資の有用性を一層感ることができた
- 教育資金や老後資金のための資金形成が大切だと感じた
- つみたてNISAの具体的銘柄選びの方法を教えてもらった。つみたてNISAとiDeCoの比較も分かりやすかった。
- かつて投資で大損をしたので投資に後ろ向きになっていたが、投資への不安が薄らいだ。
- 説明が上手である。聞きやすく自分が説明する際の参考になった。
- 定量的かつ具体的な説明で、資産形成のきっかけに資する納得感があった。
- つみたてNISAの取り崩し時期は時価の水準も考慮する必要があるがあるので、取り崩し方についても周知しておくべきではないか。